



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

DEIR 委員会の活動

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、2022年より Diversity, Equity, Inclusion, and Respect 委員会（通称 DEIR 委員会）を設立し、活動を行っています。本委員会は、2019年に当部会主催で開催された OKINAWA COLLOIDS 2019 において、海外研究者（サイエンティフィックアドバイザーボードメンバー）から寄せられた、国際会議におけるダイバーシティポリシー策定の進言を受けて新設されました。

様々な国・地域の学会におけるダイバーシティ推進の取り組みを参考に、ジェンダーに限らず、国籍、年齢、アカデミアあるいは企業といったバックグラウンドなど、幅広い多様性を考慮しています。今回は、「部会だより」の場をお借りし、当委員会の活動の成果として策定された、2026年11月に開催予定の部会50周年記念国際会議 OKINAWA COLLOIDS 2026 (<https://okinawacoloids.jp>) における DEIR ポリシーについてご紹介いたします。

OKINAWA COLLOIDS 2026 DEIR ポリシー

本ポリシーは、環太平洋国際化学会議 2025 で定められた Diversity/Inclusion

Statement も参考にし、Keynote 講演や招待講演等の講演者に関して、ジェンダーバランス、年齢、地域性などについて目標を設定しています。

DEIR POLICY

The Division of Colloid and Surface Chemistry is committed to creating a welcoming, open and safe environment for all participants throughout the conference, which embraces diversity, equity, inclusion, and respect. All participants are expected to play an active role in creating such an environment.

（コロイドおよび界面化学部会は、多様性、公平性、包括性および尊重を重視し、会議期間中、すべての参加者が歓迎され、オープンで安全な環境を創出することに尽力します。また、すべての参加者は、このような環境づくりに積極的に貢献することが求められます。）

- We are committed to organizing the conference sessions and events in a way that ensures diversity in the selection and invitation of speakers.

（私たちは、講演者の選定および招待において多様性が確保されるよう、会議のセッションやイベントを企画することを約束します。）

- We are committed to providing the anti-

pated care needed to create an inclusive and welcoming atmosphere for all participants.

（私たちは、すべての参加者にとって包括的で温かい雰囲気を創出するために、必要とされる配慮を提供することに尽力します。）

Session/Symposium Organizers には、上記ポリシーの趣旨を踏まえ、多様性と包括性に十分配慮した企画講演者（Keynote/Invited）の選定をお願いしています。具体的には、ジェンダー、世代、地域といった観点に目を向け、特定の属性に偏ることのない構成となるよう、実行委員会内で一定の目安を共有しながら検討を進めています。

おわりに

OKINAWA COLLOIDS 2026 実行委員会では、前号でご案内した開催趣旨を踏まえ、本ポリシーに基づく運営を進めてまいりたいと思います。会期後には取り組みを振り返り、今後の会議運営の改善につなげてまいります。本会議が多様な研究者に開かれた場となるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〔DEIR 委員長 杉山由紀（株式会社資生堂 未来開発研究所）〕

© 2026 The Chemical Society of Japan